似(に)た漢字(かんじ)（비슷한 한자)

- 옳을(ぺし) 가(カ) 可, 맡을(つか・さどる) 사(シ) 司
- 시집갈(とつ・ぐ) 가(カ) 嫁, 농사(か・せぐ) 가(カ) 稼
- 아름다울(よ・し) 가(カ) 佳, 갈(い・く) 왕(オウ) 往, 살(す・む) 주(ジュウ) 住
- 각각(おのおの) 각(カク) 各, 이름(な) 명(メイ) 名
- 책펴낼 간(カン) 刊, 간(きも) 간(カン) 肝
- 개간할(ひら・く) 간(コン) 墾, 간절할(ねんごろ) 간(コン) 懇
- 사이(あいだ) 간(カン) 間, 물을(と・う) 문(モン) 問, 문(かど) 문(モン) 門
- 귤(こうじ) 감(カン) 柑, 보라 감(コン) 紺
- 목마를(かわ・く) 갈(カツ) 渇, 성낼(しか・る) 갈(カツ) 喝
- 갑옷(よろい) 갑(コウ) 甲, 납(もう・す) 신(シン) 申
- 열(あ・ける) 개(カイ) 開, 들을(き・く) 문(ブン) 聞
- 착할(かちどき) 개(カイ) 凱, 낫(あては・まる) 개(ガイ) 剴 あては・まる ガイ
- 대개(おおむね) 개(ガイ) 概, 슬퍼할(なげ・く) 개(ガイ) 慨
- 손(まろうど) 객(キャク) 客, 얼굴(かたち) 용(ヨウ) 容
- 과격할(はげ・しい) 격(ゲキ) 激, 격문(ふれ) 격(ゲキ) 檄 ふれ・ゲキ
- 갈(さ・る) 거(キョ) 去, 이를(い・う) 운(ウン) 云
- 보낼(や・る) 견(ケン) 遣, 남길(のこ・す) 유(イ) 遺
- 볼(み・る) 견(ケン) 見, 숨쉴(いき) 식(ソク) 息
- 정할(き・める) 결(ケツ) 決, 유쾌할(こころよ・い) 쾌(カイ) 快
- 잠깐(ころ) 경(ケイ) 頃, 모목(うなじ) 항(コウ) 項
- 생각할(かんが・える) 고(コウ) 考, 늙을(お・いる) 노(ロウ) 老
- 괴로울(くる・しい) 고(ク) 苦, 어릴(わか・い) 약(ジャク) 若
- 연고(ゆえ) 고(コ) 故, 마를(かれる) 고(コ) 枯
- 곤할(こま・る) 곤(コン) 困, 인할(よ・る) 인(イン) 因
- 오이(うり) 과(カ) 瓜, 손발톱(つめ) 조(ソウ) 爪
- 벼슬(つかさ) 관(カン) 官, 궁궐(みや) 궁(キュウ) 宮
- 대롱(くだ) 관(カン) 管, 왕골(すげ) 관(カン) 菅
- 문서(ふだ) 권(ケン) 券, 굽을(まき) 권(カン) 巻
- 무너질(こわ・れる) 괴(カイ) 壊, 부드러운 흙(つち) 양(ジョウ) 壌
- 다리(はし) 교(キョウ) 橋, 아리따울(こび・る) 교(キョウ) 嬌, 바로잡을(ただ・す) 교(キョウ) 矯, 붙어살(かりずまい) 교(キョウ) 僑
- 갖출(そな・える) 구(グ) 具, 조개(かい) 패(ハイ) 貝
- 거리낄(かか・わる) 구(コウ) 拘, 개(いぬ) 구(コウ) 狗
- 재주(わざ) 기(ギ) 技, 가지(えだ) 지(シ) 枝
- 따뜻할(あたた・か) 난(ダン) 暖, 더울(あたた・か) 난(ダン) 煖
- 난간(てすり) 난(ラン) 欄, 목련(もくれん) 난(ラン) 欄
- 헤어질(ぼろ) 남(ラン) 襤, 넘칠(みだ・れる) 남(ラン) 濫
- 아가씨(むすめ) 낭(ジョウ) 娘, 물결(なみ) 랑(ロウ) 浪, 늑대(おおかみ) 랑(ロウ) 狼
- 종(やつ) 노(ド) 奴, 좋아할(す・く) 호(コウ) 好, 간사할(おか・す) 간(カン) 奸
- 짙을(こ・い) 농(ノウ) 濃, 고름(うみ) 농(ノウ) 膿, 나(われ) 농(ノウ) 儂
- 달밝을(おぼろ) 롱(ロウ) 朧, 둔덕(うね) 농(リョウ) 隴 うね リョウ 네이버 일본어 사전
- 여승(あま) 니(ニ) 尼, 밑(しり) 고(コウ) 尻
- 아침(あした) 단(タン) 旦, 또(かつ) 차(シャ) 且
- 기다릴(まつ) 대(タイ) 待, 가질(も・つ) 지(ジ) 持, 모실(さむらい) 시(ジ) 侍, 다를 특(トク) 特

- 여울(はやせ) 단(タン) 湍, 끝(はし) 단(タン) 端
- 단(もりつち) 단(ダン) 壇, 참빗살나무(まゆみ) 단(ダン) 檀
- 말씀(はなし) 담(ダン) 談, 물맑을(あわ・い) 담(タン) 淡
- 대신(か・わる) 대(ダイ) 代, 칠(き・る) 벌(バツ) 伐
- 무리(いたず・ら) 도(ト) 徒, 따를(したが・う) 종(ジュウ) 従
- 칼(かたな) 도(トウ) 刀, 칼날(は) 인(ジン) 刃
- 복숭아(もも) 도(トウ) 桃, 집적거릴(いどむ) 도(チョウ) 挑
- 이를(いた・る) 도(トウ) 到, 이를(いた・す) 치(チ) 致
- 달돋을(つきので) 동(ドウ) 膧?, 눈동자(ひとみ) 동(ドウ) 瞳
- 오동나무(きり) 동(ドウ) 桐, 형상 동(ドウ) 胴
- 덩굴(ふじ) 등(トウ) 藤, 등나무(とう・いす) 등(トウ) 籐
- 오를(のぼ・る) 등(ト) 登, 등불(あかり) 등(トウ) 燈
- 물이름(つづ・く) 락(ラク) 洛, 지질(や・く) 락(ラク) 烙
- 물개(かわうそ) 달(ダツ) 獺, 여울(せ) 뢰(ライ) 瀬, 게으름(おこた・る) 란(ライ) 懶
- 사내(おとこ) 랑(ロウ) 郎, 밝을(ほがらか) 랑(ラン) 朗
- 둘 량(リョウ) 両, 비(あめ) 우(ウ) 雨
- 생각(おもんばかる) 려(リョ) 慮, 사로잡을(とりこ) 로(リョ) 虜
- 잇닿을(つら・なる) 련(レン) 連, 연꽃(はす) 련(レン) 蓮
- 사모할こい 련レン 恋, 오랑캐えびす 만バン 蠻? 蠻 @namu.wiki
- 익힐ね・る 련レン 練, 쇠불릴ね・る 련レン 煉, 단련할ね・る 련レン 錬, 용마루むね 동トウ 棟
- 지낼 력レキ 歴, 달력こよみ 력レキ 暦
- 나그네たび 려リョ 旅, 겨레やから 족ゾク 族
- 명령할おお・す 령レイ 令, 이제いま 금キン 今
- 푸를みどり 록ロク 緑, 인연よ・る 연ネン 縁
- 동료とも 료リョウ 僚, 눈밝을あきら・か 료リョウ 瞭
- 땅おか 륙リク 陸, 친목할むつまじ・い 목ボク 睦
- 밤くり 률リツ 栗, 조あわ 속ゾク 粟
- 업신여길しの・ぐ 릉リョウ 凌, 언덕みささぎ 릉リョウ 陵
- 이웃となり 린リン 隣, 사랑할あわ・れむ 연レン 憐
- 사막さばく 막バク 漠, 꺼풀うすかわ 막マク 膜
- 휘장 막マク 幕, 사모할した・う 모ボ 慕
- 부질없을そぞろ 만マン 漫, 거만まん・じる 만マン 慢
- 면할まぬか・れ 면メン 免, 토끼うさぎ 토ト 兎
- 잠잘ねむ・る 면ミン 眠, 눈まなこ 안ガン 眼
- 밝을あか・るい 명メイ 明, 벗とも 붕ホウ 朋
- 해질く・れる 모ボ 暮, 모을つの・る 모ボ 募, 무덤はか 묘ボ 墓
- 끝すえ 말マツ 末, 아닐まだ 미ミ 未
- 홍역しび・れる 마痺, 임질 임リン 痲
- 침あわ 말マツ 沫, 물가 수シュ 洙
- 창はこ 모ム 矛, 미리かね・る 여ヨ 予
- 그릴えが・く 묘ビョウ 描, 고양이ねこ 묘ビョウ 猫
- 천간つちのえ 무ボウ 戊, 막을まもる 수ジュ? 守, 개いぬ 술ジュツ 戌
- 먹すみ 묵ボク 墨, 검을くろ 흑コク 黒
- 작을かす・か 미ビ 微, 부를しるし 징チョウ 徴
- 지게미かす 박ハク 粕, 쌀알リュウ 립粒
- 빽빽할ひそ・か 밀ミツ 密, 꿀みつ 밀ミツ 蜜

- 동틀くら・し 몽モウ 曚, 달빛희미할おぼろ 몽モウ 朦, 청맹과니めくら 몽モウ 瞽
- 엷을うす・い 박ハク 薄, 장ちょうめん 부ボ 簿
- 밥めし 반ハン 飯, 마실の・む 음イン 飲
- 떠날た・つ 발ハツ ? 発, 북방みずのと 계キ 癸
- 술잔さかずき 배ハイ 盃, 동이 분ボン 盆
- 막을ふせ・ぐ 방ボウ 防, 동네 방ボウ 坊, 방황할さま・よう 방ボウ 彷
- 넘칠あふ・れる 범ハン 氾, 범할おか・す 범ハン 犯
- 짝ともな・う 반ハン 伴, 거짓いつわる 양ヨウ 佯, 바다あふれる 양ヨウ 洋
- 다다를おもむ・く 부フ 赴, 일어날お・きる 기キ 起
- 어정거릴さま・よう 배ハイ 徘, 물리칠しりぞ・ける 배ハイ 排, 배우もとおる 배ハイ 俳
- 배はら 복フク 服, 회복할 복フク 復, 겹칠うつ・す 복フク 複
- 시렁たな 붕ホウ 棚, 붕사 붕ホウ 硼
- 북녘きた 북ホク 北, 견줄くら・べる 비ヒ 比, 이こ・こ 차シ 此
- 무덤はか 분フン 墳, 분할いきどお・る 분フン 憤, 뿜을ふ・く 분フン 噴
- 가루こな 분フン 粉, 어지러울まぎ・れる 분フン 紛
- 부처ほとけ 불ブツ 仏, 떨칠はら・う 불ブツ 払, 끓을わ・かす 불フッ 沸
- 지라 비ヒ 脾, 비석いしぶみ 비ヒ 碑, 곁눈질할にらむ 비ヘイ 睥, 천할はした・め 비ヒ 婢, 하여금せしむ 비ヒ 俾?, 팻말ふだ 패ハイ 牌, 도끼자루 비ヒ 椑?, 기울おぎな・う 비ヒ 裨
- 자주しき・る 빈ヒン 頻, 몰아 빈ヒン 瀕
- 가난まず・しい 빈ヒン 貧, 탐할むさぼ・る 탐タン 貪
- 얼음こおり 빙ヒョウ 氷, 길なが・い 영エイ 永, 물みず 수スイ 水
- 스승もろ 사シ 師, 장수 수スイ 帥
- 선비つかさど・る 사シ 士, 흙つち 토ド 土
- 버릴すて・る 사シャ 捨, 주울ひろ・う 습シュウ 拾
- 뱀み 사シ 巳, 몸おのれ 기コ 己, 이미すで・に 이イ 已
- 생각おも・う 사シ 思, 은혜めぐ・み 은オン 恩
- 관청やくしょ 서ショ 署, 더울あつ・い 서ショ 暑
- 서녘にし 서セイ 西, 닭とり 유ユウ 酉
- 가늘ほそ・い 세セイ 細, 신사おおおび 신シン 紳
- 글ふみ 서ショ 書, 낮ひる 주チュウ 昼, 그림え 화ガ 画
- 베풀のべ・る 선セン 宣, 마땅よし 의ギ 宜
- 베풀もう・ける 설セツ 設, 말씀と・く 설セツ 説
- 성씨かばね 성セイ 姓, 성품たち 성セイ 性
- 밝을あきら・か 소ショウ 昭, 비칠て・る 조ショウ 照, 늪ぬま 소ショウ 沼
- 눈ゆき 설セツ 雪, 구름くも 운ウン 雲
- 쓸はく 소ソウ 掃, 돌아갈かえ・る 귀キ 帰
- 풍속ならわし 속ゾク 俗, 목욕할あび・る 욕ヨク 浴
- 손자まご 손ソン 孫, 겸손할へりくだ・る 손ソン 遜
- 쇠약할おとろ・える 쇠スイ 衰, 슬플あわ・れ 애アイ 哀
- 손て 수シュ 手, 털け 모モウ 毛
- 수염ひげ 수シュ 須, 순할したが・う 순シュン 順
- 읊조릴うめ・く 신シン 呻, 벌릴す・う 합コウ 呷
- 화살や 시シ 矢, 잃을うしな・う 실シツ 失
- 풍류たの・しい 악ラク 楽, 약くすり 약ヤク 薬
- 아가씨 양ジョウ 娘, 부드러울흙 양ジョウ 壌
- 사양ゆず・る 양ジョウ 譲, 술빚을かも・す 양ジョウ 醸
- 볕ひ 양ヨウ 陽, 날릴あ・げる 양ヨウ 揚, 버들やなぎ 양ヨウ 楊, 끓일ゆ 탕トウ 湯, 마당ば 장ジョウ 場
- 가슴뜻 억オク 臆, 생각할 억オク 憶, 억 억オク 億, 트림할おくび 애アイ 噫

- 또また 억エキ 亦，붉을あか 적セキ 赤
- 탄식할なげ・く 오オ 嗚，울な・く 영メイ 鳴
- 까마귀からす 오オ 烏，새とり 조チョウ 鳥
- 낮ひる 오ゴ 午，소うし 우ギュウ 牛
- 기와かわら 와ガ 瓦，서로たが・い 호ゴ 互
- 편안할おだ・やか 온オン 穏，숨길かく・す 은イン 隠
- 말할いわ・く 왈エツ 曰，날ひ 일ジツ 日
- 흔들ゆす・る 요ヨウ 揺，노래うた・う 요ヨウ 謡
- 우연たぐ・い 우グウ 偶，모퉁이すみ 우グウ 隅
- 햇빛ひかり 휘キ 暉，휘두를ふる・う 휘キ 揮，넉넉할ゆた・か 운ウン 暈
- 말미암을よ・る 유ユウ 由，밭た 전デン 田
- 기쁠たの・しい 유ユ 愉，변할かわ・る 투ユ 渝，느릅나무にれ 유ユ 楡
- 엉길こ・る 응ギョウ 凝，비길なぞら・える 의ギ 凝
- 의논はか・る 의ギ 議，개미あり 의ギ 蟻，거동さだめ 의ギ 儀
- 사람ひと 인ジン 人，들はい・る 입ニュウ 入，여덟やっつ 팔ハチ 八
- 스스로みずか・ら 자ジ 自，눈め 목モク 目
- 맏누이あね 자シ 姉，감かき 시シ 柿
- 자석 자ジ 磁，맛ますます 자ジ 滋
- 휘장とばり 장チョウ 帳，베풀は・る 장チョウ 張
- 심을う・える 재サイ 栽，옷마를た・つ 재サイ 裁，실을の・せる 재サイ 載
- 낮을ひく・い 저テイ 低，막을あ・たる 저テイ 抵
- 적かたき 적テキ 敵，본처よつぎ 적チャク 嫡，물방울しずく 적テキ 滴，딸つ・む 적テキ 摘
- 쌓을つ・む 적セキ 積，길쌈つむ・ぐ 적セキ 績，담글つ・ける 지セキ 漬
- 꺾을お・る 절セツ 折，쪼갤さ・く 석セキ 析
- 방죽つつみ 제テイ 堤，들さげ・る 제テイ 提
- 깨끗할きよめる 정ジョウ 浄，나루つ 진シン 津
- 잡을みさお 조ソウ 操，씻을あら・う 조ソウ 澡，말릴かわ・く 조ソウ 燥，고치켤く・る 조ソウ 繰
- 할아버지じじ 조ソ 祖，세금みつぎ 조ソ 租
- 조수しお 조チョウ 潮，조롱할あざ・ける 조チョウ 嘲
- 그루터기かぶ 주シュ 株，구슬たま 주シュ 珠
- 주인ぬし 주シュ 主，임금おおぎみ 왕オウ 王
- 명주つむぎ 주チュウ 紬，물리칠しりぞける 출チュツ 絀，소매そで 수シュツ 袖
- 준걸とし 준シュン 俊，마칠おえる 준シュン 竣
- 직분 직ショク 職，짤お・る 직ショク 織，알し・る 식シキ 識
- 벌일の・べる 진チン 陳，진칠つら 진ジン 陣，마룻대むね 동トウ 棟
- 풍부할にき・やか 진シン 賑，떨칠ふ・る 진シン 振
- 버금갈なか 중チュウ 仲，화할おき 중チュウ 沖
- 무리もろもろ 중シュウ 衆，코끼리かた・どる 상ゾウ 象
- 줄おく・る 증ゾウ 贈，미워할にく・い 증ゾウ 憎，중ぼうし 승ソウ 僧，더할ま・す 증ゾウ 増
- 손가락ゆび 지シ 指，기름あぶら 지シ 脂
- 이こ・れ 차シ 此，견줄くら・べる 비ヒ 比，북녘きた 북ホク 北
- 빌릴か・りる 차シャク 借，아낄おし・む 석セキ 惜
- 부끄러울はじ・る 참ザン 慙，차츰ようや・く 점ゼン 漸
- 하늘あま 천テン 天，지아비おっと 부フ 夫
- 뚫을とお・す 철テツ 徹，걷을のぞ・く 철テツ 撤

- 캘と・る 채サイ 採, 채색いろど・る 채サイ 彩
- 청할こ・う 청セイ 請, 개일は・れる 청セイ 晴, 사랑なさけ 정ジョウ 情, 맑을きよ・い 청セイ 清
- 몸からだ 체タイ 体, 쉴やす・む 휴キュウ 休
- 물리칠しりぞ・ける 척セキ 斥, 날おの 근キン 斤
- 붙일は・る 첨チョウ 貼, 끼칠おく・る 이チョウ 貽 네이버 일본어 사전
- 초침 초ビョウ 秒, 볶을い・る 초ショウ 炒, 베낄うつ・す 초ショウ 抄, 모래すな 사シャ 砂, 모래すな 사シャ 沙
- 총つつ 총ジュウ 銃, 분쇠ずく 선セン 銑
- 밀お・す 추スイ 推, 꾀할おも・う 유イ 惟
- 쌓을たくわ・える 축チク 蓄, 기를やしな・う 축チク 畜
- 곁そば 측ソク 側, 측량はか・る 측ソク 測
- 다스릴なお・す 치チ 治, 비로소はじ・め 시シ 始
- 잠길しず・む 침チン 沈, 베개まくら 침シン 枕
- 범할おか・す 침シン 侵, 적실ひた・す 침シン 浸
- 침つば 타ダ 唾, 흙つち 타ダ 埵 ?
- 남ほか 타タ 他, 땅つち 지チ 地, 못いけ 지チ 池
- 탄환たま 탄ダン 弾, 매미せみ 선セン 蝉
- 어질 타スイ 隋, 게으를おこた・る 타ダ 惰
- 정탐할さぐる 탐タン 探, 깊을ふか・い 심シン 深
- 클ふと・い 태タイ 太, 개いぬ 견ケン 犬, 큰おお・きい 대ダイ 大
- 태도 태タイ 態, 곰くま 웅ユウ 熊
- 아플いた・い 통ツウ 痛, 병들やまい 병ビョウ 病
- 널いた 판ハン 板, 고개さか 판ハン 坂
- 닫을とじ・る 폐ヘイ 閉, 한가할ひま 한カン 閑
- 태보はら 포ホウ 胞, 안을だ・く 포ホウ 抱, 대포おおづつ 포ホウ 砲, 물거품あわ 포ホウ 泡
- 표지しるし 표ヒョウ 標, 뜰ただよ・う 표ヒョウ 漂
- 저쪽かれ 피ヒ 彼, 펼ひら・く 피ヒ 披
- 반드시かなら・ず 필ヒツ 必, 마음こころ 심シン 心
- 어찌なに 하カ 何, 물かわ 하カ 河
- 아래した 하カ 下, 법 변ベン 卞
- 여름なつ 하カ 夏, 집いえ 하カ 廈
- 한정かぎ・る 한ゲン 限, 원망할うら・む 한コン 恨
- 가물ひで・り 한カン 旱, 이를はや・い 조ソウ 早
- 다행さいわ・い 행コウ 幸, 매울から・い 신シン 辛
- 일어날おこ・る 흥コウ 興, 더불어とも 여ヨ 與
- 씨たね 핵カク 核, 그かね・る 해カイ 該, 기침せき 해カイ 咳, 지경さかい 해ガイ 垓, 어릴あかご 해ガイ 孩
- 힘쓸きわ・める 핵ガイ 劾, 새길きざ・む 각カク 刻
- 허락할ゆる・す 허キョ 許, 클おお・いなり 우ク 訏 네이버 일본어 사전, 발각할おば・く 알ケツ 訐
- 피ち 혈ケツ 血, 그릇さら 명ベイ 皿
- 가늘고긴털わず・か 호ゴウ 毫, 호걸つよし 호ゴウ 豪
- 빛날かがや・く 휘キ 輝, 휘두를ふる・う 휘キ 揮
- 살いきる 활カツ 活, 넓을ひろし 호コウ 浩
- 좁을せま・い 협キョウ 狭, 낄はさ・まる 협キョウ 挟, 골짜기はざま 협キョウ 峡
- 반딧불ほたる 형ケイ 蛍, 경영할いとな・む 영エイ 営
- 형벌のっと・る 형ケイ 刑, 형상かたち 형ケイ 形
- 어조사 혜ケイ 兮, 나눌わ・ける 분ブン 分

- 둥굴まる 환ガン 丸, 아홉ここの・つ 구ク 九
- 제후きみ 후コウ 侯, 기후そうろう 후コウ 候

From:
https://theta5912.net/ - **reth**

Permanent link:
https://theta5912.net/doku.php?id=public:japanese:%E4%BC%BC%E3%81%9F%E6%BC%A2%E5%AD%97&rev=1746711299

Last update: **2025/05/08 22:34**